

ふれあい

青少年育成葛西地区委員会

地区委員会だより
第57号
《2月発行》

まちなか探検クイズ! ポイントラリー&ドッチビー

令和4年11月20日(日) 二之江地区、新川沿い



「コロナ禍で一昨年と昨年は中止となつた「まちなか探検クイズ」ポイントラリー&ドッチビー」、今年こそは開催できると喜んだものの、何と当日は雨の予報。朝から天気予報と空模様を何度も見比べ、開催すると決めたものの、途中で雨が降り出さないか、気が気ではありませんでした。幸い、降ることなく無事に終えることができ、本当に良かったと思います。

このイベントは、決められたコースを歩きながらクイズに解答していくポイントラリーと、出発を待つ間に行うドッチビーの的あてとの合計点を競います。



【青少年部長 小林 一規】

今年のポイントラリーは、二之江コミュニティ会館をスタート、ゴール地点とするコースです。毎年参加者数の増減がありますが、今年は参加者が多く、子ども32名、保護者25名、全7チームになりました。

曇り空で肌寒かったのですが、子どもたちは元気いっぱい、「次の問題の場所まで走ろう!」なんてこともあり、同行の大人たちの方が疲れていました。

子どもたちはクイズの問題にも真摯に向き合い、何とか正解を探そうと一生懸命でした。きっと、意外な発見も多くあったことと思います。次回も多くの参加をお待ちしております。



自転車盗ゼロ作戦

令和4年6月25日(土) 西葛西駅周辺



【事務局】

青少年育成葛西二地区委員会(葛西地区・葛西第一地区・葛西第二地区)合同主催で、江戸川区、葛西警察署、各中学校PTA、葛西地区自治会連合会のご協力のもと西葛西中学校校庭に集まり、西葛西駅広場および周辺で自転車盗難防止活動が実施されました。

中学校の参加団体は、葛西中、葛西第二中、葛西第三中、南葛西中、南葛西第二中、西葛西中、東葛西中、清新第二中、清新第二中の9校参加で中学生254名と関係者合わせて約300名が参加しました。

本行事は「コロナ禍の影響で令和2年・3年度と開催が出来ていませんでしたが、今年度は多くの皆様のご協力のもと3年ぶりに開催することができました。当日は天候にも恵まれ、汗だくになって活動してくれました。ありがとうございました。

今年度は当地区委員会の古谷委員長主催者挨拶があり、斎藤区長、藤本葛西警察署長に挨拶をいただきました。また、司会は山田青少年委員長、出発号令は杉浦葛西第一地区委員会委員長、閉会挨拶は宮本葛西第一地区委員会委員長代理が行いました。

犯罪認知件数の4割近くを占める自転車盗難において、この「自転車盗ゼロ作戦」は、犯罪の抑止と規範意識の向上、また青少年の健全育成に欠かせない事業です。

来年も是非、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

地区委員長会合同研修会

令和4年7月14日(木)
江戸川区総合文化センター



7月14日、江戸川区総合文化センター研修室で、「地区委員長会なんでもアドバイザー派遣事業を利用した合同研修会が開かれ、各地区から16名の方が参加しました。講師は合同会社代表の橋たか様で、テーマは「ともに生きる」を実現するために(多様性社会の考え方と実現に向けて)でした。

タイパシニティ(多様性社会)とは、ジェンダーや人種、社会的身分、言語、家族構成、能力スキル、好き嫌い、感情などの人間の間に様々な違いを尊重し、違っている人たちが社会や世界を共有してともに生きること大切にする社会のことです。

研修の中で一番私の心に残ったのは、「全ては分かり合えないけれど、一緒にいることができる」という言葉です。青少年育成葛西地区委員会の活動においても、子どもたちが「つた」違いを理解し認め合えるよう、これからも健全育成に励んでいきたいと思っております。

【副委員長 森澤 寛】

江戸川区立小・中学校 周年記念式典 紹介

今年度は、第二葛西小学校が開校九十周年、葛西小学校が開校百四十周年、葛西中学校が開校七十五周年という節目の年を迎え、周年記念式典が行われました。

青少年育成葛西地区委員会からは古谷委員長が臨席しました。区長挨拶、来賓挨拶のほか、生徒による器楽演奏や全体合唱があり、周年記念として素晴らしい式典でした。

◆第二葛西小学校 開校九十周年記念式典

日時：令和四年十月三十日(月) 十時 体育館
第一葛西小学校校長 平川 惣一
六年生 約百六十名
臨席者 合計八十名



◆葛西小学校 開校百四十周年 ◆葛西中学校 開校七十五周年 合同記念式典

日時：令和四年十月十七日(月) 十時 屋内運動場
葛西小学校・葛西中学校統括校長 内野 雅晶
小学六年生約百四十名、中学三年生約百八十名
臨席者 合計百三十七名



ふれあい 第57号《2月発行》

発行：青少年育成葛西地区委員会
編集：広報部
事務局：〒134-0083 中葛西3-10-1
江戸川区葛西事務所地域サービス係
TEL 3688-0434 FAX 3688-8441



「ふれあい」57号(2月号)が出来上がりました。

「コロナ禍が続いており、感染対策を講じながら少しずつイベントや活動が再開でき、今年度は「ふれあい」を3年ぶりに年2回発行することが出来ました。

「ふれあい」発行にあたっては、多くの皆様にご協力いただいたことを深く感謝申し上げます。

【広報部副部長 山口 秀行】

編集後記

この広報誌は世帯ごとに一部お取りください。全戸配布にご協力ください。



夏期講演会 ネットとの正しい付き合い方を学びましょう

令和 4 年 7 月 10 日(日) 葛西区民館

青少年育成葛西区委員会研修部では、毎年夏と秋にテーマを設けて講演会を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で夏期講演会は3年ぶりの開催となりました。開催に向けて感染対策を講じ、且つ多くの方々に講演会に参加していただくため、来場者とオンラインのハイブリット型の講演を実施いたしました。

講師は「子どもたちがSNS等で被害に遭わないための知識を身に付けるための講座」等の講演を数多く実施しているため、研修部では、本講演「ネットとの正しい付き合い方を学びましょう」を通して、インターネットの「便利」なところや「怖いところ・危険なところ」を動画やイラストにより紹介させていただきます。

ご参加いただいた方々にはアンケートにご協力いただき、講演内容に一定の評価を頂くことができ、また、課題や今後取り上げて欲しい講演内容のリクエストを多く頂きました。

研修部では、頂戴したご意見をもとに協議し、より良い企画を提供できるよう一致団結して取り組んでまいります。

【研修部長 喜本 正樹】

夏休み工作教室

8月14日(日)に二之江コミュニティ会館として予定されていた、夏休み工作教室は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため残念ながら中止となりました。

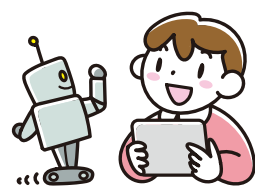
楽しみにしていた子どもたちが別の形で参加できる方法がないか青少年部で協議をしました。

協議した結果、今回は参加予定の子どもたちがご家庭でも工作できるように、材料とレシピをおくりました。

アンケート結果はとも好評であり、新しい形で開催できたことをうれしく思います。

アンケート結果は下記の通りです。

【事務局】

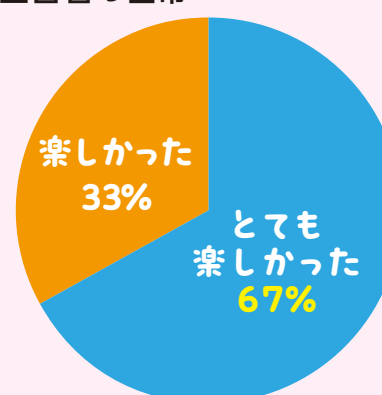


↑トイレットペーパーと毛糸で作ったアマビエ

→牛乳パックで作ったプロジェクター



◆回収率31%
参加者:29世帯(子ども40人)
回答者:9世帯



いただいた感想(抜粋)

- 夏休み中、外へ出られないときに部屋で工作にチャレンジすることができました。レシピを見てほぼ一人で作ることができ、送って頂いた材料でプラバンや他の工作物を作ったりしていました。ありがとうございました! また機会がありましたら参加させてください。宜しくお願い致します。
- 小2、小5、二人とも楽しくできました。プロジェクターやアマビエ、空気砲、一通り作ることができました。プラバンが一枚あったので沢山作れて楽しかったです。
- すごくむずかしかったけどつくってみたらたのしかったです。
- ちゃんと作れて良かったです。夏休みの自由工作で悩んでいたのを助かりました。
- 写真の作り方も載っていてわかりやすかったです。簡単で良かったです。送って頂いてありがとうございました。
- 実際に工作教室はできなかったことは残念でしたが、材料を一式と説明書を送って頂き大変助かりました。ありがとうございます。説明書もわかりやすく楽しく作ることが出来ました。また来年も参加したいと思います。1点、プロジェクター作成で携帯の差し込む溝をカッターで切りぬく際、細いため子ども(3年生)には少し難しいかと思いました。

夏休み夜間パトロール

令和 4 年 7 月 13 日(水) 二之江地区、長島・桑川地区

コロナ禍で見合わせていた夏休み夜間パトロールを7月13日、3年ぶりに実施しました。

夜20時、葛西区民館に集合し、二之江地区と長島・桑川地区に分かれて、青色回転灯を付けた車を先頭に出発します。大きな公園では赤色誘導灯で巡回しました。

夏は開放的になり気持ちも緩みがちになります。子どもたちを見つけると「こんばんは。遅くならないように帰ろうね。」と声をかけました。子どもたちも「わかりました。」と明るく返事をしてくれました。

2回目の夜間パトロールを8月2日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症が再び拡大してきたため中止となりました。

これからもこういった事業に参加し、地域の員として安全・安心なまちづくりを進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【青少年部担当 牧野田 友康】



秋期講演会

子どもたちが参加したくなるようなPRや企画づくりのヒント

令和 4 年 11 月 16 日(水) 葛西区民館

令和 4 年 11 月 16 日に研修部主催秋期講演会において、株式会社石塚計画デザイン事務所代表の千葉信也様に「子どもたちが参加したくなるようなPRや企画づくりのヒント」と題し、ご講演をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、約3年間さまざまなイベントが中止になりました。また近年、この青少年育成葛西区委員会の事業は子どもたちの参加者が減っており、今年7月の研修部主催夏期講演会でも思うような参加者を集めることができず部会内外でさまざまな議論を重ねてきました。「動員について何かヒントを得られたら」ということで、東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部若年支援課「地区委員会」なんでもアドバイザー派遣「事業制度」を利用し、今回の秋期講演会を実施しました。

ご講演のなかで、広報(PR)とは、「Public Relations(伝えたい相手のことを考える)」ことから始め、(1)多くの人々と良い関係を築くこと、(2)当団体のことを他人に理解してもらい、共感や協力を得ること、対象者にどんなことになら興味を持てるものか、当地区委員会の「良さ」「魅力」どのような団体なのかを知ってもらう、つまりは伝えたい相手と「両想い」の関係を作るといったものでした。

また、さまざまな広報手段を連動させて相手に届く情報の流れの作り方や、チラシや広報誌づくりのポイントを学び、改めて気づかされる良い機会となりました。

当日は校長先生をはじめ各学校PTA並びに、ご参加いただきました皆様へ厚く御礼申し上げます。

自然燃人、他燃人、不燃人、消燃人という言葉があります。研修部員が自然人となり、より一層精進してまいりますので、今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

【研修部副部長 関口 武史】

